

# 市議会だより

No.100

2020.8.5 発行



大北溪谷逢呼滝（解説は11ページ）

## 主な記事の内容

- 市議会だより100号を迎えて 2～3
- 一般質問（2名が質問） 4～5
- 常任委員会の審査内容 6～8
- 専決事項・議案審議結果ほか 9～11
- 次回定例会日程ほか 12



議会だよりQRコード



## No. 40



### 北茨城市の公共施設



北茨城浄化センター（解説は2頁）

#### 主な記事の内容

一般質問・全員協議会・各特別委員会	2～4
(市立総合病院、アスベスト、指定管理者制度等で5名が質問)	
常任委員会の審査内容	5～6
可決された議案(24議案を可決)	7
決算特別委員会・第4回定例会日程	8

## No. 30



### 北茨城市の名所・旧跡を訪ねて



第緑蔵神社（天妃山）（解説は2頁）

#### 主な記事の内容

新正副議長を選出	2
一般質問・全員協議会	3～4
(施政方針・水質汚濁対策・地域医療等で4名が質問)	
常任委員会の審査内容	5～6
可決された議案(43議案を可決)	7
行財政改革特別委員会	8

## No. 20



### 北茨城市の名所・旧跡を訪ねて



記念碑「亜細亜ハナナ里」と石膏の原型（解説は2頁）

#### 主な記事の内容

生活環境の整備等で論戦(6名が一般質問)	2～4
常任委員会の審査内容	5・6
可決された議案(16議案を可決)	7
決算特別委員会の審査内容	8

40-49号(2005.11～2008.2)

2007年5月に漁業歴史資料館「よう・そろー」がオープン。豊かな自然や観光資源と一次産業を結び付け、地域振興の一つとして取り組む「ブルーツーリズム」の推進拠点。

30-39号(2003.5～2005.8)

市民病院建設検討・構造改革特区・温暖化防止・北部幹線道路・市町村合併などが論議された。

20-29号(2000.11～2003.2)

乳幼児医療・路線バス・狂牛病対策・市民病院問題などが論議された。雨情生誕120年記念事業を実施。

## No. 90



磯崎駅イルミネーション（解説は15ページ）

主な記事の内容	
●一般質問(9名が質問) ②-⑩	
●常任委員会の審査内容 ⑩-⑫	
●議案審議結果ほか ⑫-⑬	
●次回定例会日程ほか ⑬	



発行/北茨城市議会 編集/議会だより編集委員会  
北茨城市議事録発行部 1630 ☎0293-43-1111 内線 311, 312 <http://www.city-kitabaraki.jp/>

## No. 80



こうちゃんのお誕生会（解説は11ページ）

### 市議会だより Gikaidayori

#### 平成27年第3回定例会

●一般質問(4名が質問)	P2～5
●常任委員会の審査内容	P6～8
●全協・反対討論・意見書ほか	P9
●9月補正予算の概要	P10
●決算審査結果ほか	P11
●議案審査結果ほか	P12
●地方創生 Vol.2	P13
●編集後記	P14



発行 北茨城市議会  
編集 議会だより編集委員会  
北茨城市議事録発行部 1630  
☎0293-43-1111 内線311  
<http://www.city-kitabaraki.jp/>

## No. 70



富士ヶ丘小中学校入学式（解説は18ページ）

### 市議会だより Gikaidayori

#### 平成25年第18回定例会

●新しい議会構成	P2～3
●一般質問(健康調査等で4名が質問)	F4～7
●常任委員会の審査内容	P6～9
●可決された議案(4議案を可決)	P11
●平成25年第2回定例会日程(予定)	P12

発行 北茨城市議会  
編集 議会だより編集委員会  
北茨城市議事録発行部 1630  
☎0293-43-1111 内線311  
<http://www.city-kitabaraki.jp/>

90-99号(2018.2～2020.5)

コロナ対策に議会も対応し、会議は時間短縮、本会議は傍聴者なしの対応を余儀なくされる。

80-89号(2015.11～2017.11)

新消防本部庁舎、市民病院、新図書館、関南小学校などの公共施設の建て替えが進み、震災からの復興が現実のものとなってきた。

70-79号(2013.5～2015.9)

新病院建設にあたり「病院経営検討特別委員会」設置。経営の安定化及び地域医療のあり方等の調査研究を行い提言。

# インフラ面での支援策として水道料の減免策はいかがか



鈴木康子 議員

市長

コロナ禍は不安定な状況であり、  
当面はこのままですすめたい

**問** 市のコロナ対策方針に市民病院への支援があるが、国の第2次補正予算の使途についての考えはいかがか。

**市長公室長** 病院への支援策は、臨時交付金に充当するかどうか含め、国・県の補助金額が明らかでないので、予算措置していません。第2次補正の今後をみながら検討していきます。

**問** インフラ面での支援策として水道料の減免策はいかがか。

**市長** コロナ禍でひどい状態ですが、この先不安定な状況であり、また水道は重要な問題なので、当面はそのままですすめたい。

**要望** 自治体に向けられた2次補正予算をインフラ整備にも使うよう要望する。

## 避難所について

**問** 感染症対策を含む災害時の避難についての見直しはいかがか。

**総務部長** コロナ禍で、避難所以外の安全な親戚・知人宅への避難検討も提唱されていますが、避難所の増設を考えています。

避難所のレイアウトや運営マニュアルの作成とともに、衛生対策用品の配置を進め、資材の確保に努めています。非接触型体温計は17個確保し、今後も購入を進めます。発熱者には、市民体育館の柔剣道場を検討しています。テントと横幕で飛沫感染を防ぎますが、当面、速やかに購入できる

**市長** コロナ対策は現在進行形で、一般財源からの予算措置も含め防災用資材の購入と、複合災害の訓練も検討していきます。

**要望** 「全国災害ボランティア支援団体ネットワーク」(JVODA)が公開している、感染症対策などを盛り込んだ市民にもわかりやすい『避難生活お役立ちサポートブック』の活用を要望する。

## 学校教育について

**問** 3月2日からの突然の一斉休校は、年度替わりをはさみ3ヶ月の長期休業となった。学習に相当の遅れと格差が広がり、心身のス

トレスもあるなかで、手厚く柔軟な教育が求められている。教育環境、特に学習計画の見直しについて伺う。

**教育長** 国や県の学校再開ガイドラインを参考に、教育委員会と校長会で決定した内容をもとに、各学校で、各教科領域の年間指導計画を見直しています。行事は潤いや変化を与えるもので、開催時期、場所や方法など精選し、見直しをしています。

**問** 31人超える学級が小学校で79のうち18、中学校で35のうち19ある。3密回避に学級をわけると必要だが、目安はありますか。また授業方法はいかがか。

**教育長** 学校の実態や施設設備の大きさに対応しています。何人という限定的なものはありません。小学校では3密回避の教室は確保できています。中学校では、時間割の編成や教育機器の利用で工夫しています。施設、教職員の配置、または時間割編成などを総合的に考え弾力的に行っています。

**問** 県事業での非常勤講師など、増加する授業数に対応して給与の保障はあるのか。また、市独自採用の職員についてはどうか。

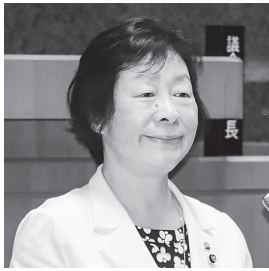
**教育長** さまざまな講師が配置されていますが、学校再開後の個々の学習にきめ細かな対応を図る目的で100時間から150時間ほどふやすなどの変更はあります。特に夏休み、冬休み期間中に実施する場合には有効に活用する予定です。

市独自で採用している職員についても、今後検討していきます。

**問** 7時間授業や土曜授業の実施、夏休みについてはいかがか。

**教育長** 学校独自の対応になります。7時間授業はあり得ますが、土曜授業は検討していません。夏休みは短縮を検討しており、授業日には、給食実施の方向で考えています。

**要望** 感染者発生の場合のマニュアルは、保護者にも周知されるよう要望する。



柴田 キクエ 議員

## 複合防災センターの活用について

市長公室長

隣接する市役所の防災本部機能を補完し、炊き出しなどの防災拠点として活用します

**問** 災害時の自家発電について伺う。

**市長公室長** 自家発電機を設置し、停電時においても防災上必要な設備への電力供給を行う予定です。

**問** 防災機能について伺う。

**市長公室長** 炊き出し機能、非常食などの備蓄機能、避難所機能となっています。自家発電設備と併せてプロパンガス施設、受水槽、備蓄食材を活用することで、停電・断水時においても米飯及び汁物などの炊き出しが可能です。

**問** 今後の活用方針について伺う。

**市長公室長** 復興事業の総仕上げとして整備をしているもので、震災時に苦慮した炊き出しや、非常食などの備蓄、避難所機能を補うべく整備しています。完成後については、東日本大震災級の災害時にも防災機能が発揮できるように管

理に努め、災害時には隣接する市役所の防災本部機能を補完し、防災拠点として活用します。

### 新型コロナウイルス感染症対策について

**問** 経済対策について伺う。

**市長公室長** 国や茨城県の経済対策の隙間を縫うべく、  
 ① 市民の感染症予防に対する支援  
 ② 外出自粛要請の影響を最も受けている飲食・宿泊事業者に対する支援  
 ③ 小中学校の臨時休校に伴う家計負担の増大に対する支援  
 ④ 市内の医療を支える市民病院に対する支援  
 4つの項目を柱としています。

**問** 財源確保について伺う。

**市長公室長** 現在の厳しい財政状況を鑑み、地方創生臨時交付金など国の制度を最大限活用します。

**問** 学校休校による子どもたちの学力、体力、スマホ依存などの影響と対策について伺う。

**教育長** 教育委員会と学校で協議し、定期的な家庭訪問や電話での対応をしました。

5月には週1回の分散登校を行い、家庭学習の課題を回収し、新たな課題を渡すなどしました。

家庭で学習を進めるための学習支援として、県作成のインターネットを活用した授業動画「いばらきオンラインスタディ」の活用をすすめ、通信環境が整っていない家庭には、DVD配付やDVDプレイヤー貸与を行い、学力の習得に努めました。

体力面については、食事、運動、睡眠を大切にして生活するように指導しながらも、感染症対策を考えた上での適切な運動を奨励しました。また、文部科学省から出された「運動取組カード」を活用し、子どもたちが意欲的に運動に取り組み

効果がありました。

スマートフォンやゲーム機などインターネット端末の利用については、長期休業中の生活習慣を整えるよう指導しました。毎日の「健康観察カード」で1日を振り返ったり、1週間の計画や1日の時間割などを作成し、時間の使い方を考える取組を行いました。

学校再開後の指導については、休業中の取組状況の把握を基に、授業を通しての指導や繰り返し学習により定着に努めます。

**要望** 2021年は、東日本大震災から10年を迎え、市民の防災意識を高めるため、防災教育の充実を要望する。



会期中にそれぞれ委員会を開催し、委員会に付託された議案の審査を行いました。  
また、委員会の分掌に関する事項についても質疑を行っています。ここでは、委員会での質疑の一部を紹介します。

## 産業建設委員会

6月10日に開催され、付託された議案7件、請願1件を審査しました。

### 補正予算について

問 衛生費について伺う。

答 ごみ処理費は規定額43億7203万7千円で、補正額400万円を増額し、合計43億7603万7千円となります。

内容は、新型コロナウイルス感染症対策として、全世帯を対象に燃やせるごみ専用袋、1袋10枚を無償で配布しています。

内訳は、燃やせるごみ専用袋の

購入費として136万3千円、引換券印刷費として78万2千円、引換用ハガキの郵便料として121万円、市役所と常設の配布場所以外の市内7箇所を巡回配布する業務のシルバー人材センターへ委託費64万5千円です。

問 商工費について伺う。

答 商工業振興費4100万円は、負担金補助及び交付金の補正です。

内訳は、中小企業事業継続応援貸付金1700万円で、新型コロナウイルスの影響により、売り上げが減少した市内の中小企業、個人事業主に対して市と県が協調し資金を貸し付けし、事業継続を支援するための協力金です。

一事業所の貸し付け上限額は200万円で、県が4分の3、市が4分の1を負担し、市は一事業所あたり50万円を限度に貸し付けするもので、貸し付け対象事業者数を34件と想定しています。申請の受付は、市商工会で行っています。期間は令和2年5月11日～3年2月26日までです。

デリバリー・テイクアウトサービス実施応援事業補助金2400万円は、同じく新型コロナウイルスの影響により、売り上げの減少

と経営に大きな影響を受けている飲食店などが、デリバリーまたはテイクアウト事業を行うための経費を補助し、事業継続を支援するための補助金です。補助額は、一事業所あたり上限20万円、参加事業者数120件と想定しています。申請期間は、2年5月11日～6月30日まで、補助対象期間は、4月1日～12月31日までです。

### 震災復興市町村幹線道路整備支援事業支援対象道路の北町・関本中線整備について

答 今年度は復興創生期間の最終年度であり、事業完成までのすべての工事委託費で2年5月15日に、茨城県と仮契約を締結しました。

工事の主な内容は、跨線橋周辺の擁壁工事、深田橋上部工事、交差点改良工事などを行い早期完成を目指します。

問 進捗状況について伺う。

答 JR工事は今年の12月で概ね終わる予定ですが、その後、JR跨線橋周辺の地盤改良や擁壁工事を行うため、2年度の完成は難し

い状況です。現在の進捗状況は約60%で、今年の12月には80%の予定です。

令和2年度土地改良事業計画

地区名	工種	受益面積 (ha)	概算事業費 (千円)	完成年度
上桜井地区	排水路改良工事	1.0	1,700	令和2年度
下桜井地区	用水路改良工事	2.0	12,000	令和4年度
峰岸地区	用水路改良工事	1.5	10,000	令和4年度
木皿地区	用水路改良工事	4.0	4,600	令和2年度
中妻地区	排水路改良工事	1.2	3,400	令和2年度
神岡地区	農道整備工事	8.0	5,600	令和2年度
関本中地区	用水路改良工事	3.9	11,000	令和5年度

## 文教厚生委員会

6月11日に開催され、付託された議案5件を審査し、その他については質問文書を提出し、文書で回答を受けました。

### 補正予算について

答 民生費では、保育対策総合支援事業費200万円、保育所における感染防止用備品購入費などを補助、保育所4園に各50万円です。

衛生費では、妊婦特別給付金事業に165万円、茨城県の緊急事態宣言が発令されていた間の高水準の予防対策を支援するため1人当たり1万円を給付します。対象者は本年5月14日までに母子健康手帳の交付を受けている者で150人です。

教育費では、学校給食臨時休業対策事業費で134万9千円計上しました。学校休業に伴い、米飯・パン及び麺の加工業者に対し、市学校給食会が負担する違約金相当額を助成するものです。また、明徳小学校および平潟小学校に新たに特別支援学級が設置されることに伴う空調設備工事費232万1千円を計上しました。

### 新型コロナウイルス感染症対策について

#### 市民病院での対応について

答 基本的に全診療科の一般診療を通常どおり実施しています。外来患者全員に対して、正面玄関前でのトリアージを行い、症状内容で感染症疑いのある患者は感染症外来での受診案内をしています。

院内感染拡大防止の観点から、本能的にご家族も完全面会禁止であり、エレベーター前において洗濯物などの受け渡し業務を病院外職員などの支援を受けながら実施しています。

新規入院患者は急ぎの治療が必要な方を最優先とし、また、健診などの予約を延期する措置をとっています。さらに救急搬送された患者についても医師の判断により検査を実施し、感染症疑いがある場合は検査結果が出るまでの期間、症状により入院経過観察の対応措置をとっています。

#### 感染症外来の開設について伺う。

答 感染症対策として、通常診療の患者との動線を分ける必要があります。4月13日に感染症外来を設置しました。市報・回覧などで市民に周知するなどして、事前予約による問診を経て受診及び検査を実施しています。

実施しています。

受診者は245人（6月10日現在）、市内は197人です。年代別では、20〜39歳で106人です。PCRの受検者数は93人、市内66人です。なお、外来・救急外来・入院を含めた検査総数は126人、市内90人です。

### 学校教育について

問 学校での消毒・衛生資材、体温計の確保について伺う。

答 マスク、手指消毒用アルコール、ビニール手袋（給食配膳者用）、フェイスシールドは、市で一括購入し、各学校への配付を進めています。非接触型体温計を全校に配備の予定です。

問 学校休業中の子どものためのストレスの実態把握とその対策について伺う。

答 臨時休業中は登校日に、学校再開後は毎日の学校生活で、児童生徒の様子・表情などを観察、生活や心の状態についてのアンケートの実施などで、把握に努めています。把握した情報などをとくに、二者面談やスクールカウンセラーの活用を実施するなど、児童生徒の不安や悩みについて相談できる体制を整えています。

問 オンライン授業などの学習支援の実施の考えはあるか伺う。

答 タブレット端末の一人1台の整備に向け、準備を進めています。

### 子育て支援について

問 各種健診・予防接種での対応、今後の計画について伺う。

答 新生児訪問は、訪問家庭と訪問者ともに、発熱や風邪症状がないことを確認した上で、感染予防の工夫を行ない、産婦や家族の要望がある家庭に訪問しています。

4ヶ月児健診は3月から5月まで中止し、乳児の発育や発達に関する相談がある場合は個別に対応し、生後6〜7ヶ月で受けることができる乳児一般健康診査票（公費負担）を利用しての医療機関での健診を案内しています。

また5月下旬から、通常4ヶ月児健診にて配付しているブックスタートを届けるため保健師が対象者宅を訪問しています。

予防接種は、例年どおり個別通知をし、実施しています。

また、本年度整備予定の「子育て支援ルーム」は、テーブルやマットなどの備品を設置し、6月最終週には壁の装飾、入口案内などを整備予定です。

## 総務委員会

6月12日に開催され、付託された議案5件、請願1件を審査し、その他については質問文書を提出し、文書で回答を受けました。また、16日に追加議案3件を審査しました。

### 特別定額給付金について

答 6月15日現在の給付状況は、申請数1万8617世帯で全世帯の97・1%、郵便申請1万8266件(窓口受付含む)、オンライン申請351件です。口座振込み完了件数は1万8590世帯4万2185人です。申請困難者・未申請世帯は約550世帯で全体の3%です。

申請期限は令和2年8月14日で、未申請については広報、HPなどで申請、相談を促します。

事務事業については、動員職員数は5月末までで延べ400人、1日最大68人(5月10日発送準備)、会計年度職員は4人採用し、繁忙期は休日・時間外勤務もありました。また、事務所及び相談窓口は、コロナ感染防止の観点から電話対応を基本として、食堂棟に事務所を開設しました。

### 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた災害時の避難所について

問 新型コロナウイルス感染症拡大が懸念される中、日本列島はこれから本格的な梅雨、台風シーズンを迎える。また頻発している地震災害の発生に備えた避難体制の構築と備蓄品について伺う。

答 密を避けるため、各避難所の収容可能人数は、これまでの受け入れ人数より大幅に少なくなります。その対策として災害時には、これまでより多くの避難所を開設し、避難者に対応します。

備蓄品については、マスク、消毒液、体温計、段ボールベッド、高いパーテーションなどを備えます。新型コロナウイルスに対応している市民福祉部と連携しながら、保有数があるものは活用し、不足する衛生用品、感染対策品などは順次確保中です。

避難所の運営マニュアルの改訂については、新型コロナウイルス感染症対策に対応するため、国が示した指針などに基つき見直し中です。

発熱者を区別するための動線の確保については、発熱者などの避難先として、南部中部は市民体育

館、北部は生涯学習センターを想定。両施設とも一般の避難者と発熱者など体調不良者について、区画や水回りについて、動線を完全に区別することを想定しています。

今後、①避難所における健康状態確認、換気と密を避けるスペース確保、発熱者への対応などの避難所運営について、②手洗い、咳エチケットなどの励行による感染防止策の徹底、③避難所以外の親戚知人宅など安全な場所への避難について、市HP、広報紙などで周知を進めていきます。

### 消防本部の新型コロナウイルス感染症対策について

答 防疫対策については、3月23日に茨城県での感染者発生を受け、職員に対し執務中のマスク着用、出勤時の体温測定をしていますが。アルコール消毒液を設置し、手洗い、うがい、手指消毒を徹底しています。

来客外来者については、4月7日から、受付を設置し記名を依頼、直接事務室への入室を禁止し、面談や打合せはロビーなどで距離を保ち飛沫防止策をおこなっています。

勤務体制については、4月20日から、当直署員において隔日勤務

(一部2部制)を3部制に変更し、万が一の感染者発生に備え勤務職員を固定し、職員間の接触を最小限とする措置をとりました。6月1日からは勤務変更を解除しました。救急隊員の防疫と装備については、救急全症例で、感染防護衣上下着用、ゴーグル、ゴム手袋、サージカルマスクを装着し出場しています。通報内容から感染症を少しでも疑えばサージカルマスクからN95マスクに装着替えしています。また、傷病者に疑いがある場合には救急車内換気扇の使用や窓を開けて対応しています。

救急車両の防疫対策については、病院へ患者を収容後は、換気を徹底し、車内及び機器などのアルコールによる清拭消毒を実施しています。帰署後は、汚染された感染防護衣は所定の場所にて廃棄し、手洗いを徹底しています。

### マイナンバーカードの交付状況について

答 5月31日時点の交付件数は、6319件、交付割合は14・5%です。



## 令和2年度 専決による4月補正予算の主なもの

### 介護保険低所得者保険料軽減繰出金

消費税による公費を投入して低所得者の保険料の軽減強化を行うため、介護保険事業特別会計への繰出金を増額する。

5028万6千円

### 新型コロナウイルス感染症対策事業

感染症拡大防止対策として、感染予防啓発や、マスク、消毒薬剤などを購入。

660万9千円

### 特別定額給付金事業

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の一つとして、対象者1人につき10万円を給付する。

43億3833万2千円

### 子育て世帯臨時特別給付金事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活支援の一つとして、児童手当受給世帯を対象に特別給付金を給付する。

5285万円

### もやせるごみ専用袋無償配布事業

新型コロナウイルス感染症対策としての外出自粛要請により、家庭ごみ排出量の増加が見込まれることから、全世帯にもやせるごみ専用袋を無償で配布する。

400万円

### 中小企業事業継続応援貸付金 市町村協力金

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、廃業や倒産が懸念される中小企業・個人事業主に対する県と市町村による新たな貸付制度に係る市協力金。

1700万円

### デリバリー・テイクアウトサービス 実施応援事業

新型コロナウイルス感染症対策としての外出自粛要請により、飲食、宿泊事業者などの経営状況がひっ迫していることから、デリバリー・テイクアウト事業を実施する市内事業者に対し、経費の一部を補助する。

2400万円

### 遠隔学習支援事業

学校の臨時休業期間中、茨城県教育委員会が実施している授業映像のネット配信を小中学生の家庭学習補助として活用するに当たり、受信環境のない児童・生徒に対し映像記録媒体や再生機器などの貸出しをする。

189万1千円

### 家庭学習機会確保補助事業

小中学生の各家庭における補助的学習に係る経費を、1人当たり2万円補助する。

6216万6千円

### 新型コロナウイルス感染症疾病 手当金（国民健康保険事業）

被用者のうち、新型コロナウイルス感染症に感染した者、または発熱などの症状があり感染が疑われる者に対して支給。

900万円



松本正春 議員  
在職8年以上  
茨城県市議会議長



鈴木啓一 議員  
在職15年以上  
全国市議会議長  
茨城県市議会議長



鈴木康子 議員  
在職20年以上  
全国市議会議長  
茨城県市議会議長

令和2年度、全国、茨城県それぞれの市議会議長会より表彰されました。

永年勤続で表彰

## 第2回定例会提出議案の審議結果

令和2年第2回定例会は、6月2日から6月16日までの15日間の会期で開催されました。提出された議案は、令和2年度北茨城市一般会計補正予算など17件。結果は次のとおりです。

議案番号等	件名	結果
議会報告第2号	請願の報告について	
	請願2 自家増殖を原則禁止とする種苗法「改定」の取りやめを求める請願	採 択
	請願3 「北茨城市議会議員政治倫理条例」「市議会だより」他に関する請願	不採択
報告第1号	令和元年度北茨城市一般会計継続費繰越計算書について	
報告第2号	令和元年度北茨城市一般会計繰越明許費繰越計算書について	
報告第3号	令和元年度北茨城市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	
報告第4号	令和元年度北茨城市一般会計事故繰越し繰越計算書について	
議案第32号	専決処分の承認を求めることについて	承 認
	専決第1号 北茨城市介護保険条例の一部を改正する条例	
	専決第2号 北茨城市市税条例等の一部を改正する条例	
	専決第3号 北茨城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	
	専決第4号 令和2年度北茨城市一般会計補正予算(第1号)	
	専決第5号 令和2年度北茨城市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	
	専決第6号 北茨城市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	
	専決第7号 北茨城市市税条例の一部を改正する条例	
	専決第8号 北茨城市国民健康保険条例の一部を改正する条例	
	専決第9号 令和2年度北茨城市一般会計補正予算(第2号)	
	専決第10号 令和2年度北茨城市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	
議案第33号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同 意
議案第34号	農業委員会の委員の任命について	同 意
議案第35号	土地の取得について	可 決
議案第36号	土地改良事業の計画の概要について	可 決
議案第37号	損害賠償の額を定めることについて	可 決
議案第38号	震災復興市町村幹線道路整備支援事業支援対象道路の北町・関本中線整備に関する令和2年度委託契約の締結について	可 決
議案第39号	北茨城市市税条例及び北茨城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可 決
議案第40号	北茨城市手数料徴収条例等の一部を改正する条例	可 決
議案第41号	北茨城市国民健康保険税条例及び北茨城市介護保険条例の一部を改正する条例	可 決
議案第42号	北茨城市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可 決
議案第43号	北茨城市営住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可 決
議案第44号	令和2年度北茨城市一般会計補正予算(第3号)	可 決
議案第45号	複合防災センター新築工事請負契約の締結について	可 決
議案第46号	複合防災センター新築電気設備工事請負契約の締結について	可 決
議案第47号	財産の取得について	可 決
議会議案第3号	自家増殖を原則禁止とする種苗法「改定」の取りやめを求める意見書	可 決

## 請願の審査結果

### 採択となったもの

- 請願2 自家増殖を原則禁止とする種苗法「改定」の取りやめを求める請願  
 東茨城郡茨城町上飯沼 626  
 農民運動茨城県連合会 代表 岡野 忠  
 紹介議員 鈴木 康子

### 不採択となったもの

- 請願3 「北茨城市議会議員政治倫理条例」「市議会だより」他に関する請願
- |             |          |              |       |
|-------------|----------|--------------|-------|
| 磯原町木皿 991   | 代表 柴田 克彦 | 中郷町上桜井 972-1 | 佐藤 一男 |
| 磯原町木皿 777-1 | 木村 早苗    | 中郷町石岡 1185   | 福田 茂  |
| 磯原町上相田 693  | 小林 勇     | 磯原町木皿 762-4  | 齋藤 雄一 |
| 磯原町木皿 1030  | 吉中 元弘    | 磯原町大塚 1222   | 豊田 靖幸 |
| 磯原町本町 3-4-7 | 渡邊 匡秀    | 磯原町木皿 815    | 柴田 文弘 |
- 紹介議員 和田 喜武

## 全員協議会 6月2日、6月16日開催

6月2日は事務局から、上記の請願2、請願3について、執行部からは、「地方創生交付金等に係る事業実施結果報告」、「新型コロナウイルス感染症に係る市独自経済対策について」などの報告・説明がありました。

16日は執行部から、「複合防災センター新築工事請負契約の締結について」、「財産（高規格救急車）の取得について」などの説明がありました。

## 討論 6月16日

鈴木康子議員は、産業建設委員会に付託された、議会報告第2号請願2「自家増殖を原則禁止とする種苗法「改定」の取りやめを求める請願」の委員長報告「不採択」について反対討論しました。また、議案第32号専決第3号「北茨城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例」について反対討論しました。

村田仁人議員は、産業建設委員会に付託された、議会報告第2号請願2「自家増殖を原則禁止とする種苗法「改定」の取りやめを求める請願」の委員長報告「不採択」について賛成討論しました。

**表紙の解説** あいこ 大北溪谷逢呼滝  
 大滝愛好家が、数年前に下流から撮影したものです。  
 現在、県道からは滝の落ち口しか見られません。



よこやまたいかん  
横山大観

「靈峰不二」

「北茨城市所蔵作品から」

今回で紹介する「靈峰不二」は、昭和16年(1941)6月、大津町役場新庁舎の竣工祝いのため横山大観(1868-1958)が描き寄贈したものです。明治39年(1906)、岡倉天心率いる日本美術院の絵画部が東京から五浦へ移転するのに伴い、大観ら日本画家が五浦に移住しました。天心が亡くなる大正2年より前に、画家たちは五浦を離れていましたが、大観のみ五浦の家を別邸として残し、避暑に利用するなど、長く愛しました。大観別邸の留守居の世話をしていたのが、大津町議会の議員を務めた小野金次で、小野の尽力によって大観作品の寄贈がなされました。

「大観と言えば富士」と評されるほど、大観は生涯にわたり富士山を好んで描きましたが、戦時色の濃くなる昭和16年当時、愛国心の強い大観は、日本の象徴としての富士を題材にした作品を熱心に制作しました。金雲に浮かびあがる富士は神々しく、祝いの絵としてふさわしい作品といえるでしょう。なお、当時の新聞には、新庁舎の工費が2万円であるのに対し、「靈峰不二」は時価5万円相当と記されています。



茨城県天心記念五浦美術館  
主任学芸員 松尾 敦子

横山大観「靈峰不二」昭和16年 北茨城市蔵

令和2年第3回定例会日程(予定)

令和2年第3回定例会は、9月1日から9月17日の17日間です。

- 9月1日(火) 本会議(議案説明など)
- 9月7日(月) 本会議(一般質問)
- 9月8日(火) 本会議(一般質問)
- 9月9日(水) 産業建設委員会(議案審査)
- 9月10日(木) 文教厚生委員会(議案審査)
- 9月11日(金) 総務委員会(議案審査)
- 9月14日(月) 決算特別委員会(一般会計・特別会計)
- 9月15日(火) 決算特別委員会(特別会計・企業会計)
- 9月17日(木) 本会議(採決など)

●議会だより編集委員会委員●

- |      |         |
|------|---------|
| 委員 長 | 豊田 弘 俊  |
| 編集 長 | 上神谷 英 典 |
| 副編集長 | 鈴木 康 子  |
| 委員   | 蛭田 千香子  |
| 委員   | 柴田 キク工  |
| 委員   | 鈴木 弥太郎  |
| 委員   | 和田 喜 武  |

編集後記



記念すべき100号を迎えた「市議会だより」です。10周年、50回、あるいは100号、それぞれ区切りのいいところで「はじまり」や「一定の期間」を振り返って、見直したりする場面が多いように感じます。改めて創刊号から見ると、議員活動の生き生きとした姿が各所にうかがえ、なぜか新鮮な気持ちになりました。軌跡をたどりその足跡の大きさに驚き、先人の

教えに気づかされたからでしょう。これからの50年、100年を見据えて、広大な白紙に一字を書き込んで行く時、力になってくれるのが「振り返り」であることは否定できませんが、それ以上に大切なことは、どれだけ多くの希望を書き込むことができるかだと感じます。将来、大きな実をつける木となるかもしれないのですから、たくさん種を蒔いておくことは大切なことだと思えます。

(上神谷英典 記)